

# 羊蹄ニセコエリアサイクルルート 現地視察報告

北海道サイクルルート連携協議会  
アドバイザー会議

令和3年3月4日

# 北海道のサイクルツーリズム エゾイチ走行会概要

2020年10月10日(土) 13:00~17:00 (後志総合振興局発着)

走行コース: エゾイチ [羊蹄山一周] 約53km

## ◆視察箇所

視察箇所	概要
①国道5号	路肩部の走行確認
②ニセコ除雪ステーション	ニセコサイクルオアシスとして活用 サイクリスト専用駐車場・休憩スポット
③道の駅真狩フラワーセンター	景色を楽しみながらリフレッシュ
④道道97号	段差をなくした雨水柵の試験施工
⑤京極ふきだし公園	羊蹄の湧水で涼みながらスイーツを楽しむ
⑥倶知安町豊岡	案内看板と地図で現在地を確認
⑦尻別川沿い	尻別川沿いの河川敷を走行



## ◆オリエンテーション



オリエンテーションの様子



班ごとのミーティング



主催者挨拶  
宮崎道路調査官



開催地挨拶  
YNCA代表脇山氏

新型コロナ感染防止対策として、マスク着用を徹底(走行時以外)。また、密を避けるため、3つの班に分かれて走行会を実施。

主催者、開催地それぞれご挨拶を頂いた後、試走の全体説明、注意点のアナウンス。また、ガイド引き受けて頂いたYNCAの方々のご紹介。

その後各グループで、簡単な自己紹介を行い、ガイドから区間ごとの見所や注意箇所について説明。

## ◆レンタサイクルの利用



配置されたレンタサイクル

ホワイトアイルさん、ニセコスポーツさんよりE-bike13台、ロードバイク5台をレンタル。

# 北海道のサイクルツーリズム エゾイチ走行会概要

**走行会参加者 : 35名 (3グループに分かれ走行)**

**意見交換会参加者 : 41名 (内3名リモート参加)**

※班割りはゴール時点、●はリモート参加

グループ1					グループ3				
所属	役職	氏名	意見交換会	備考	所属	役職	氏名	意見交換会	備考
北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 北見工業大学 地域未来デザイン工学科	委員長 教授	高橋 清	○		北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 NPO 法人日本風景街道コミュニティサイクルツーリズム研究委員会	委員 顧問	宮内 忍	○	
羊蹄ニセコ自転車走行協議会 (有)マウンテンサイド	代表取締役社長	脇山 潤	○	ガイド	北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 東京工業大学 環境・社会理工学院	委員 教授	屋井 鉄雄	○	
羊蹄ニセコ自転車走行協議会 お食事Bar きむら		木村 俊一	○	ガイド	羊蹄ニセコ自転車走行協議会 倶知安町 総合政策課	課長	柳澤 利宏	○	ガイド
くしろサイクルツーリズム協議会 (有)阿寒観光ハイヤー	取締役社長	松岡 篤寛	○		石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会 石狩市 企画経済部 企画課	主査	鈴木 徹哉	○	
くしろサイクルツーリズム協議会 釧路空港ビル(株)	取締役	望月 吉雄	○		北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課	主査	猪狩 和成	○	
富良野美瑛ルート協議会 NPO法人南富良野まちづくり観光協会	事務局理事	小林 茂雄	○		北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道開発局 建設部 道路計画課	調査官	宮崎 貴雄	○	
石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会 石狩市 企画経済部 企画課	課長	上窪 健一	○		北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道開発局 建設部 道路計画課	課長補佐	瀬能 博之	○	
北海道サイクルルート連携協議会 (一社)シーニックバイウェイ支援センター	代表理事	原文 宏	○	サポート	北海道開発局 小樽開発建設部 道路計画課	道路計画専門官	高橋 裕樹	○	
北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課	主事	坂野 大吾	○		(株)ドーコン 総合企画部	主任技師	富田 将義	-	
北海道開発局 小樽開発建設部	部長	坂場 武彦	○		(株)ドーコン 交通部 都心交通企画室	副主任	片桐 広紀	○	サポート・運営
北海道開発局 旭川開発建設部 道路計画課	道路調査官	大西 功基	●		(株)ドーコン 交通部 都心交通企画室	技師	小島 真実	○	サポート・運営
バシフィックコンサルタンツ(株) 社会イノベーション事業部 総合企画室	主任	栗栖 嵩	○	サポート					
グループ2					意見交換会のみ				
所属	役職	氏名	意見交換会	備考	所属	役職	氏名	意見交換会	備考
北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 (一社)日本サイクルツーリズム推進協会	委員 理事	加藤 京子	○		きた北海道サイクルツーリズム連絡会議 (一社)稚内観光協会	副会長	杉川 毅	●	
北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 北海道大学大学院 工学研究院	委員 教授	萩原 亨	○		北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道 経済部 観光局	主任	中本 知世	●	
羊蹄ニセコ自転車走行協議会 機関建設工業(株)	代表取締役社長	柏谷 匡胤	○	ガイド	(株)ドーコン 交通部 都心交通企画室	室長	山本 郁淳	○	運営
きた北海道サイクルツーリズム連絡会議 (一社)豊富町観光協会	事務局長	栗山 尚久	○		(株)ドーコン 交通部 都心交通企画室	主任技師	山本 純江	○	運営
北海道 後志総合振興局 産業振興部 商工労働観光課	観光振興係長	彌永 幸子	○	サポート					
北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道開発局 建設部 河川計画課	調査係長	下館 巧	-						
北海道サイクルルート連携協議会 事務局 北海道開発局 建設部 道路計画課	係長	浦 建一郎	○		(株)ドーコン 総合企画部	技師	佐藤 航平	-	運営
北海道開発局 小樽開発建設部 道路計画課	道路調査官	上原 勇気	○		(株)ドーコン 総合企画部	主任研究員	平出 涉	○	運営
北海道開発局 小樽開発建設部 道路計画課	上席道路計画専門官	西山 公夫	○		(株)ドーコン 交通部 都心交通企画室	技師	佐々木 拓哉	○	運営
北海道開発局 稚内開発建設部 道路計画課	道路調査官	高野 進	○		バシフィックコンサルタンツ(株) 社会イノベーション事業部 総合企画室	技術次長	佐藤 賢司	○	運営
北海道開発局 稚内開発建設部 道路計画課	上席道路計画専門官	池田 和也	○		バシフィックコンサルタンツ(株) 社会イノベーション事業部 総合企画室	室長	船岡 直樹	○	運営
(一社)北海道開発技術センター 調査研究部	主任研究員	中前 千佳	○	サポート・運営	バシフィックコンサルタンツ(株) 協力会社 アシスト六郎	代表	五十嵐 憲一	-	運営

# 北海道のサイクルツーリズム エゾイチ走行会概要

## ①国道5号



矢羽根



路肩狭小区間

- 路肩部の走行確認
- 自転車走行空間の矢羽根が整備済み。
- 交通量が多く、郊外部においては、路肩狭小区間も存在。

## ③道道97号



走行写真



フラットな雨水柵の説明

- 路肩が広く、交通量も少ない。快適な走行環境を確認。
- 試験施工として、2017年に、段差のないフラットな雨水柵を6箇所を設置おり、実際の走行性を確認。

## ②ニセコ除雪ステーション



除雪ステーション



休憩スペース（水分補給）

- 無雪期には除雪ステーションをニセコサイクルオアシスとして、サイクリストの休憩スポットに活用。
- サイクリスト専用駐車場、サイクルラック、トイレ、休憩スペース等が利用可能。

## ④京極ふきだし公園



サイクルラック



おやつを頂きながら休憩

- サイクルラックが2台あり、サイクリストが立ち寄りやすい環境。（走行会のため2台追加）
- 京極かふえもかのプリンやコーヒーゼリーを頂きながら休憩。



# 北海道のサイクルツーリズム エゾイチ走行会概要

## ⑤尻別川沿い

## ●その他 【走行写真】

### <1班>



### <2班>



### <3班>



河川敷



羊蹄山への眺望

- 小道に入り、尻別川沿いの河川敷を走行。
- 天候に恵まれれば、羊蹄山を眺望しながら走行可能。
- 車両交通がなく、快適な走行環境を確認。

## ●ゴール



2班



1班



3班

- 35名全員完走。グループごとの集合写真を撮影。
- 到着後は随時解散とした。（閉会式はなし）

# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

日時：令和2年10月11日（日）9:00～10:30

場所：北海道後志総合振興局 講堂  
 （北海道虻田郡倶知安町北1条東2丁目）

## ◆道内各サイクルルート代表者より エゾイチ走行会の所感およびルートの現状について説明

- 羊蹄ニセコ自転車走行協議会  
 マウンテンサイド 脇山代表取締役社長

### 【エゾイチ走行会の所感】

試走ルートは、最初に設定した根幹となるルート。この他、外周や留寿都方面等など魅力的なルートがいろいろとあるところ。

### 【ルートの現状】

矢羽根は蘭越エリアを除いてほぼ完成。案内看板も設置に向けて調整中。マップのリニューアルなども含め、**セルフで楽しめる環境を充実させていく。**

沿線にはサイクルショップ、カフェなども増えつつあり、**サイクルの取組による地域経済への貢献**も感じているところ。



司会：宮崎道路調査官

ソーシャルディスタンスを確保しつつ、リモートの併用、マスク着用の徹底、パーティションの設置等、コロナ対策を徹底

## ◆開会挨拶

北見工業大学 高橋委員長

### 【開会挨拶】

走行会ではエゾイチコースの達成感を実感。

各ルートからのご参加いただき、様々な情報を交換を期待。サイクルルートを北海道に広げる、さらには日本全国に広げるため、北海道の持つ多様な魅力を発信していくというのが我々の大きな任務だと考えており、ぜひ有意義な会議にしていきたい。

## ●きた北海道サイクルツーリズム連絡会議

稚内観光協会 杉川副会長 ※リモート参加

### 【ルートの現状】

旭川から日本の最北端、利尻島一周を入れて364キロの長距離コース。

北海道の多様な走行シーンを楽しむことができる。**カヌーやマウンテンバイクなど各種レジャーとの連携**にも取り組んでいる。

白い道など絶景ルートがあることから、**サブルートも検討中。**

一方休憩するポイントが少ないことが懸念。サポート体制の確保にむけ、バス、タクシー、JRによる輪行での長距離移動など、**公共交通機関との連携、活用も進めている。**



# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

## ◆道内各サイクルルート代表者より エゾイチ走行会の所感およびルートの現状について説明

- きた北海道サイクルツーリズム連絡会議  
 豊富町観光協会 栗山事務局長



【エゾイチ走行会の所感】  
 昨日の走行会で初めてE-BIKEを使用したのが非常によかった。豊富町でも今レンタサイクルを充実させてきているが、**今後はE-BIKEを導入について検討したい。**  
 あとは危険な箇所、たとえば路肩に砂等が多い区間は注意喚起等があるとよい。

【ルートの現状】  
 きた北海道ルートは各市町村でサイクリストや関係する人口が増え、**年々サポート体制が充実してきている。**

- くしろサイクルツーリズム協議会  
 釧路空港ビル 望月取締役



【エゾイチ走行会の所感】  
 エゾイチは初心者の方でも非常に安心して走れるルートで素晴らしいな感じた。  
**3つの道の駅があり、受入環境が充実。**

【ルートの現状】  
 拠点である釧路空港の改善のため、**サイクルステーションによる工具貸し出し、着替えスペースの案内、コインロッカーでの輪行バッグの預かりサービスのほか、HPの充実など情報発信強化**を行った。  
 今後はさらに路肩整備をはじめ走行環境の改善も図っていきたい。

- くしろサイクルツーリズム協議会  
 阿寒観光ハイヤー 松岡取締役社長

【エゾイチ走行会の所感】  
**官民連携がとても上手くいっているルート。**  
**休憩施設が丁度いい間隔で立地。地域の特産品など、ニセコエリアの資源を体感できるのも素晴らしい。**

【ルートの現状】  
 ルートには**複数レンタサイクル提供施設**があり、**コロナ禍においても顕著に貸し出し**がある。**乗り捨てや路線バスとの連携等サービスが充実**している。今後はPRの強化して利用者増を図りたい。



- 富良野美瑛ルート協議会  
 NPO法人南富良野まちづくり観光協会 小林事務局理事

【エゾイチ走行会の所感】  
**自動車はかなり近くを通るため、怖いと感じた。**  
 一方で放置されているゴミが少なく景観が良い。

【ルートの現状】  
 ルート独自の形で路面標示のサインを整備しているが、**維持管理が問題**。自治体が予算化するためには、**サイクルの取組による費用対効果も整理するべき**。  
 また**サイクルツアーの企画数や人材育成なども評価する指標**に入れていただきたい。



# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

## ◆道内各サイクルルート代表者より エゾイチ走行会の所感およびルートの現状について説明

### ●石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会 石狩市 上窪課長

#### 【エゾイチ走行会の所感】

羊蹄山を様々な角度から見て楽しむことができよかった。**自転車を通して楽しく健康になれる、そういった生活の質の向上をプロデュースできるのもまた道路空間**であると走行会を通じ実感。

#### 【ルートの現状】

ルートは290キロの長距離を自然景観や起伏を楽しみながら走っていただくことができる。

今年度から石狩市として**社会資本整備総合交付金を活用し**、案内看板や道の駅等休憩施設について**官民連携で整備を進めていく方針**。

ルートマップを今春に作成・配布し反響をいただいている。

**道内で唯一自転車活用推進計画を作成済み**。PR動画の発信等も実施している



### ●オホーツクサイクリングルート

※ルート関係者欠席のため北海道開発局 道路計画課 瀬能課長補佐よりルートの現状について紹介

#### 【ルートの現状】

オホーツクサイクリングルートではルートマップやホームページの更新作業を今後実施していく予定。

また、**ガイド育成研修会や北見バスとの連携等も実施**している。

イベントはコロナの影響を見つつ、今後については可能な限り実施していきたい。以上のことをお伺いしている。



### ●石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会 石狩市 鈴木主査

#### 【エゾイチ走行会の所感】

案内標識や路面標示などサイクリング環境が整備されており、**初心者でも安心して走行できると感じた**。

今回のコース**約50キロの中に3箇所も道の駅**があるなど受入環境も充実しており、さらに雄大な羊蹄山も臨めることからサイクリストにとっては最高の環境であると感じた。



### ●トカプチ400

※ルート関係者欠席のため株式会社ドーコン 平出主任技師よりルートの現状について紹介

#### 【ルートの現状】

平成27年に十勝サイクルツーリズム研究会という形で発足し、トカプチ400のルート設定やアクションプラン策定等行ってきた。

こうした活動の中でトカプチマップを作成し、現在では**英語版と繁体字版と最新はタイ語版というものを発行**している。

トカプチ400という**ロゴマーク・オリジナルグッズ作成**等も試作段階ではあるが取り組んでいる。協議会の取組を進めるうえで資金が必要になるので、**今後の収入源の確保、加えて魅力の発信**という意味でもグッズ等の販売を今後していきたい。



# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

## ◆連携協議会事務局より アクションプランとりまとめ状況 および連携協議会の取組状況について説明

資料説明：瀬能課長補佐



### 【アクションプランとりまとめ状況】

アクションプランは、各ルートの整備進捗状況や取組状況等についてまとめているもの。北海道の**サイクルツーリズム推進方に位置付けている資料**の1つ。

道路管理者である開発局・北海道・市町村の整備内容や各ルートが実施する内容が記載されており、道路管理者側と地域を繋ぐ資料とも言える。

現在は各ルートの整備状況・これからの整備予定について数量等詳細な部分についても取りまとめを行っている段階。来年2月を予定しているアドバイザリー会議で本資料について議論をしていきたいと考えている。

**今後これを毎年更新**していき、道内の各ルートで今年は何を整備するのか、どんな取組をやるのか、という議論を行いつつ活動を盛り上げてきたい。

### 【連携協議会の取組状況：CCTVによる自転車交通量調査】

以前より、道内各サイクルルートの自転車利用者数が分からないという課題があった。この取組は国道区間に設置している**道路管理用CCTVカメラの映像**を用いて**各サイクルルートの自転車交通量を調査**するというもの。

調査手法は**AI画像分析という最新技術の活用**を考えており、この技術の**精度検証**を含め知見を得ていきたい。AI画像分析と並行し目視観測（人手観測）も行い、**それぞれの結果を比較する**方針。

自転車交通量調査箇所は各ルート2か所ずつを想定。この取組で把握した自転車交通量が取りまとめ次第みなさまへも提示させていただく予定。

### 【連携協議会の取組状況：休憩施設空白地帯調査】

この取組は受入環境の向上を目指し、道内に立地するコンビニとの連携を見据え進めているもの。**休憩施設がない地域を抽出**し、その地域にコンビニが立地していれば、その**コンビニと連携しサイクリスト向けの休憩施設にできないかという発想**のもと、本調査を行っている。

一方、コンビニが立地している地域には他休憩施設が立地している場合も多いということなどもこの調査から判明しつつある。コンビニ連携は有効と考えているが、**地域状況を踏まえながら、受入環境の向上に向け進め方を検討していきたい**。

### 【連携協議会の取組状況：基幹ルートマップの統一】

道内および道外、更には世界に向け、**全道一体となった取組についてPR**をできるよう、統一マップを作成したい考え。

統一マップ以外にも各サイクルルートで作成している独自マップもある。独自マップは各サイクルルートの詳細情報を提供するなど、**統一マップとルート独自マップの棲み分け**を考えながらこの取組を進めていきたい。

構成としては表面に基幹ルートや標高の情報等を記載、裏面には各種地域の情報を記載というものを想定している。引き続き各サイクルルートの方の意見を聴きつつ検討を進めていきたい。

# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

## ◆アドバイザー会議委員より エゾイチ走行会の所感 および道内サイクルルートへの意見・助言等

### ■日本サイクルツーリズム推進協会 理事 加藤委員

#### 【エゾイチ走行会の所感】

生まれが真狩村であり、初めて自分の故郷を走行することができた。E-BIKEで走行したが、**E-BIKEのアシスト機能もあれば一般の人でも走れるルート**だと体感した。また、昨日の走行ルートは**休憩施設が複数あり充実**していた。

#### 【道内サイクルルートへの意見・助言】

受入環境の充実という観点から、自転車店を営んでいることから、資格の取得に困っている人がいればご相談頂ければ、**担い手確保**のお手伝いはできるかもしれない。

また、自転車協会の理事になったことから、**いくつかのメニューで補助金がある**。こちらもお手伝いできるものもある。

北海道には昨日見せて貰った**除雪センターのようなものがまだたくさんある**と思う。そういった休憩施設の維持管理の問題が出てくると思うので、自動販売機などでも、今後、自転車を通じて**地域にお金が落ちる仕組み作り**であったり、**そのお金を使った休憩施設等の維持管理や整備**ができるようになると思う。

**8ルート皆様の連携**により、北海道の魅力を活かし、北海道が自転車の聖地になるよう頑張ってもらいたい。

### ■北見工業大学 教授 高橋委員長

#### 【エゾイチ走行会の所感】

ニセコのルートはネットワークがある程度完成されており、かなりレベルが高く、**初心者から上級者まで、様々なサービスが提供できる**と感じている。

一方セルフガイドの場合、交通量が多いため右折が多くなる**右回りでの走行には懸念**を感じた。

#### 【道内サイクルルートへの意見・助言】

**除雪ステーションの活用はよい**。この取組を例に、**地域と行政の連携した取組が全道に広まっていくとよい**。

広域なネットワークでの連携を検討していけないか。広域な連携となると、峠があるなどすることから、**バス等公共交通の活用が必要**になる。

連携協議会で実施予定の取組は、得られたデータや知見を地域のためにどのように活用できるかが重要。**経済効果、QOL、生活の充実度などに繋がる展開**を考えていきたい。

コロナ禍において、サイクルイベント等ができない社会状況であるが、**今だからこそもう一度インフラを足元から見直し、整備を進めるべき**。道の駅は確かに良いが混んでいて入れない場合がある。車道や右左折レーン、グレーチング形状など。路面の状態はヨーロッパと比較して日本は圧倒的に良い。



# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

## ◆アドバイザー会議委員より エゾイチ走行会の所感 および道内サイクルルートへの意見・助言等

### ■北海道大学大学院 教授 萩原委員

#### 【エゾイチ走行会の所感】

昨日の走行会はグループの一番後ろで走行させていただいたが、みなさんの励ましを受けながら楽しくは走らせてもらった。

その中でみなさんから地域の様々な情報をいただき、あらためてガイドの重要性を感じた。

#### 【道内サイクルルートへの意見・助言】

「北海道の自然を見てください」だけではなかなか興味を持って貰えないこともある。

サイクリストに楽しんでもらいたいリピーターを増やしていくには、道路などのインフラ整備だけでなく**人（ガイド）の整備も必要**。

昨日の走行会でも実感したが、**地域に精通したガイドがいることで地域の良さが伝わる**。

是非そういうガイドツアーのようなものも進めてほしい。

### ■日本風景街道コミュニティサイクルツーリズム研究委員会 顧問 宮内委員

#### 【エゾイチ走行会の所感】

ルート上に休憩施設が多く、トイレや飲食施設等を有し、情報提供も十分と**施設が充実しているのは道内でも珍しい**と感じた。

また、サービスも高いレベルにあり**インバウンド対応は日本有数**。

アクティビティ会社が**ガイド付きツアーをやっていて一つのゴール**と言え、他所の模範となる。

一方**交通量の多い国道5号をルート指定しているのは懸念**。並行するサブルート指定するなど検討したほうがよい。

#### 【道内サイクルルートへの意見・助言】

二セコのマップも良く出来ており、折りたたみが容易なミウラ折りを採用しているほか、ユポという雨に強い紙を使用している。

統一マップのルールについては、**ルートマップは現状スマホサイズが主流**。また世界的な基準として**マップには高低差や区間距離を掲載することになっている**。**高低図は地名を入れて平面図とリンク**させる。

**案内看板は起終点が地図でもちょっとわかりにくい**ので、どこからの距離なのかわかりやすくしてほしい。

**除雪ステーションの夏期利用は良いアイデア**。

**B級グルメの充実が魅力の要素**になる。

**グレーチング等の段差解消**は必要。



# 北海道のサイクルツーリズム 意見交換会概要

## ◆アドバイザー会議委員・連携協議会より エゾイチ走行会の所感および道内サイクルルートへの意見・助言等

■東京工業大学 副学長 屋井委員

### 【エゾイチ走行会の所感】

E-BIKEのおかげもありスムーズに走行できた。ルートとしては難易度はそれほど高くなく、羊蹄山をはじめ、夕日に向かう尻別川沿いの道など、**北海道の自然などを活かしたルート設定が非常に良い**と感じた。

一方国道5号においては交通量が多くかなり厳しいと感じた。外国人への対応も含め、**交通量の多い区間に対してはより自転車が行きやすいよう何かしらの対策が必要**。

費用は大きくなるが、E-BIKEでは自転車専用道路と路肩でスピードに違う自転車を分離する区間もある。

### 【道内サイクルルートへの意見・助言】

道路のグレーチングの改善は課題と感じる。以前釧路で**ゴムパッドを活用した対策をしたことがある**ので今後の対策の参考とすべき。

**JRなど公共交通機関と組み合わせた楽しみ方**も提供できるとよりルートの魅力が増すはず。

ビギナーにはいくつかのパターンを示すと良い。

## ◆閉会挨拶

■小樽開発建設部 坂場部長



### 【閉会挨拶】

2日間に渡り、大変貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

サイクルツーリズム推進に関する取組は、世界最高水準を目指しこれまで様々な活動をしてきたところ。本日皆様の意見を聞き、人の繋がりや各種環境整備が進んでいると感じた。

一方で、行政にしかできない取組、例えば走行環境の整備というのは、我々行政が責任を持ってやっていかなくてはいけないと考えている。

また、このサイクルツーリズム推進に関する取組による経済効果などを示す指標についても、以前から問題認識を持っていたところ。道庁で5年に1度行っている観光動向調査にサイクルの項目を入れて貰った。イベントのみではなく、支払額といったものも検討が必要。これらをもって関係機関等を巻き込んでいくことで、地域の魅力向上につなげていきたい。

本日はありがとうございました。